

手話による教養大学

手話による教養大学 学生

[HOME](#) > 手話による教養大学

手話による教養大学 ～ ろう者が教え、ろう者が学ぶ



2009年に始まった日本初の“教授陣も受講生も日本手話者”という教養教育プログラムです。法学・自然科学・英文学・経済学・舞踏・手話言語学・アメリカ手話など、さまざまな科目において、その分野の第一人者として活躍するろう者が日本手話で授業を行なってきました。

受講生は日本社会事業大学で福祉を学ぶ学生と、他大学の学生や社会人です。大学の規則に則り、授業や試験が行われ、日本社会事業大学以外の大学でも単位互換制度により単位が認定されます

手話で教養豊かな国際人をめざそう

手話による教養大学では、ろう者の教師が日本語で講義を行っています。また、日本社会事業大学 社会福祉学部では、日本語を外国語科目とする入試も行っており、入学後は、プロの手話通訳者やパソコンタイカーがついた授業で学べます。アメリカ・ワシントンD.C.のろう者の大学ギャローデット大学との協働授業も履修することができます。「手話による教養大学」で英語やアメリカ手話を学び、ギャローデット大学への留学を目指すこともできます。

「国際的視野をもった当事者ソーシャルワーカー 養成」プロジェクトリーダー 斉藤くるみ

国際基督教大学で英語・言語学を学び、英国ケンブリッジ大学留学中に修道院の手話に出会い、以来、手話言語学の研究をしながら、聴覚障害をもつ高校生・大学生の学習権を守る活動に携わってきた。日本社会事業大学福祉学部教授。日本手話学会副会長。『少数言語としての手話』（東京大学出版会）の著作。



私たちが手話で教えています



佐野 正信

翻訳家
「映画で英語を学ぶ」「英語B」「英語A」



末森 明夫

産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門主任研究員、日本手話学会会長、ろう史研究家
「進化 - 進化学及び系統的思考」



角 祐樹

日本手話講師
「初級日本語」



袖山 由美

アメリカ手話通訳、国際手話通訳、キッズイングリッシュ教室主催
「初級アメリカ手話」「中級アメリカ手話」「上級アメリカ手話」



高山 亨太

ギャロレット大学 大学院
ソーシャルワーク研究科長、
精神保健福祉士・社会福祉士
「聴覚障害ソーシャルワーク
総論」



零境

鑑の舞踏家、零・主宰
「舞踏A-自分のからだに向か
い合う」「舞踏B-間を見つめ
る」



中野 聡子

群馬大学 共同教育学部特別支
援教育講座 准教授
「ことばとこころ」



森 亜美

英語・アメリカ手話教師
「初級アメリカ手話」「英語
A」



森 壮也

日本貿易振興機構アジア経済
研究所新領域研究センター主
任調査研究員
「手話学 - 音韻・統語」「社
会福祉調査法」



若林 亮

弁護士
「法学」

50音順、2020年10月現在

日本手話が苦手な方のために手話通訳のつくバリアフリークラスの授業もあります。（清瀬キャンパス）

木下知威 「建築と科学・自然」「メディアと世界」

前田晃秀・福島智 「盲ろうコミュニケーション支援論」

吉川あゆみ 「情報保障」

私たちがプロジェクト室のスタッフです



コーディネーター・手話通訳士
日置 淑美

プロジェクト室では聴覚障害学生の情報保障支援を提供してきました。コーディネーターとしては、パソコンテイク・手話通訳・ノートテイクとニーズに合わせて配置することが重要です。

また、先生方・支援者・学生との信頼関係を構築することも心がけてきました。

今後は英文科卒の能力も活かして、国際性を身に着けた聴覚障害学生を養成するよう、新プロジェクトに貢献していきたいと思っています。



ソーシャルワーカー
守屋 敬介

日本社会事業大学を卒業し、現在は大学院生です。

大学院入学後フィリピンに行き、現地の特別支援学校でろう児の指導をするなどの活動を2年間行いました。

プロジェクト室では、ろう当事者として、ろう学生の授業や学内生活に関わる相談など、サポートを行なっています。

私たちが学んでいます



岩泉 萌

私は、福祉の勉強ができる高校に通っていたため、将来は児童福祉の勉強がしたいと思い、福祉の勉強ができる大学を探したところ、日本社会事業大学があることを知りました。自分は聴覚障害を持っているため、少人数制である日本社会事業大学で学びたいと思い、社大に入りました。

将来は、まだはっきり決まっていますが、ろう学校の先生になるか公務員になるか迷っています。

宇田 旬佑

私は将来、社会福祉士として、障がいを持つ人や生活困難に直面している人に向き合い、サポートしたいと思っています。

社事大は少人数制での授業を行っているため、自らの意見を発言する機会が沢山あり、きめ細やかな指導を受けることが出来ます。その上実習教育に力を入れているため、講義や教科書だけでは身につけられない知識や技術を身につけることが出来ます。そのようなカリキュラムは身体や手を動かしながら理解していく自分のやり方に適していると思いました。

また、本学は手話を語学として、大学のカリキュラムに取り入れています。ろう講師による講義もあります。母語である手話での講義を受けられ、自由に質問、意見の主張が可能であることに魅力を感じました。以上の理由から、本学へ進学することを決めました。



瀧澤 雅樹

私は、オープンキャンパスで手話言語学の斉藤先生と出会い、いろいろ話を聞いたり、情報保障や手話による授業が受けられることがポイントだったので、社事大に入りました。将来は、教育に携わる仕事がしたいです。

ろう者である私から見た社会はまだ偏見や差別で溢れていて、特にマイノリティの存在は見過ごされているように感じます。コミュニティから孤立していきろう者も、私はこの目で見てきました。

この大学でいろいろ勉強をし、少しでも社会に発信できるように、啓蒙活動をしていきたいです。

ろう者・難聴者のみなさん、ぜひ社事大に入って一緒に勉強していきましょう。



西脇 将伍

あらゆる分野で活動されている錚々たる講師によって行われる"手話による教養大学"に私は惹かれました。第二外国語にあたるASLを習得することで、各国のろう者と繋がることが可能になり、ろう者に関する学問も深く学べるため、当事者である自分の可能性を広げられると考えました。

また、社会的弱者という同じ立場に置かれているあらゆる障害者にも関心があり、社事大の豊かな社会福祉のカリキュラムで幅広く学ぶことによって、マイノリティの視点から社会を良くするヒントを得られると思います。

今では、障害者の理解が普及し、社会は変わりつつあります。しかし、ろう学校の現場では、聴者のように音声で喋り、聴くことに重点が置かれ、ろう文化がそんざいにされている現実があり、そのことは、未だ障害者が否定的にとらえられているからでしょう。そこで将来は、社事大で学んだことを活かし、自分にできることを模索していきたいと考えています。

そして私は、ろう児が生まれてきたら、"おめでとう、ろう者の世界へようこそ"と心から言えるような世の中にしたいです。



藤井 太陽

これまで、ろう者である私が、障がいや社会福祉などに関することを学ぶ機会はありませんでした。社事大に入ることによって新たな考えが生まれるだろうと、期待して入学しました。

ろう者である私を障がい者とみるのではなく、聴者と同じ立場で講義を受けられることが大きいです。

将来は、私のようなろう者が困っていることがあれば、すぐ助けるということをしたいです。特に、日本手話という言語を社会に普及させていきたいと思っています。

"日本手話は言語であり、ろう者の誇りである"

増田 菜央

以前より人と関わることが好きで、発展途上国の支援にも関心があったため、福祉がいいかなと思ったこと。また情報保障が他の大学と比べて進んでいるため社大への入学を決めました。

大学に入っていなかったら別の自分として人生を歩んでいたと思うほどとてつもなくデカイ経験ができました。

将来は、当事者でもあり、私だからこそできることを、発展途上国で誰もが輝ける人生を送れる環境をつくりたいと思っています。



支援者を目指すスキルを学ぶ

コミュニケーションバリアフリー課程は、聴覚障害者支援のスペシャリストを目指すための課程です。
手話通訳・パソコンテイク・盲ろうコミュニケーション支援などにチャレンジしてみたい方を募集しています。

<https://deafhohproject.com/jp/>

パソコンテイクって何？



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

Copyright © 2020 国際的視野をもった当事者ソーシャルワーカー養成 All Rights Reserved.

2021 年度

「手話による教養大学」

特別聴講生ハンドブック

(大学等に在籍している方)

日本社会事業大学

目次

- 1 申請手続きについて
- 2 授業期間
- 3 事務取扱窓口
- 4 成績評価及び単位認定
- 5 休 講
- 6 補 講
- 7 出席確認
- 8 文京キャンパスの開講科目について
- 9 清瀬キャンパスの開講科目について
- 10 キャンパスへのアクセス

1 申請手続きについて

1-1 出願資格

以下、2つの条件を満たしている方。

①日本手話のできる方。

②大学、短期大学等に在籍している方。

[日本社会事業大学学部特別聴講生規程 第2条(1)・(2)]

1-2 申請期間

(1) 2021年3月1日(月) ～ 2021年4月15日(木)

対象：前期科目・後期科目

(2) 2021年9月1日(水) ～ 2021年9月30日(木)

対象：後期科目

※前期5科目以内、後期5科目以内までの申請とさせていただきます。

※開講科目によって授業開始日が異なりますのでご注意ください。

1-3 申請方法

郵送、FAX、E-mailのいずれかにて、以下の2点を大学教務課までご送付下さい。

- ・本学所定の申請書
- ・本学所定の履歴書
- ・在学証明書(学生証のコピーでも可)

お申込み後、「聴講許可書」を現住所宛てに郵送いたします。

1-4 受講場所

日本社会事業大学 文京キャンパス

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-12

日本社会事業大学 清瀬キャンパス

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

1-5 申込先

日本社会事業大学 大学教務課(清瀬キャンパス)

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

TEL : 042-496-3107 / FAX : 042-496-3101

E-mail : kyomuka@jcs.ac.jp

2 授業期間

授業は、補講日を含めた以下の期間で、15コマ実施いたします。

(前期) 4月6日(火) ～ 7月31日(土)

(後期) 9月13日(月) ～ 1月26日(水)

※授業日程については、8および9「開講科目」で確認してください。

※集中講義はこの期間に当てはまらない日程で行われることがあります。

3 事務取扱窓口

窓口	取扱事務	取扱時間		問い合わせ先	
清瀬キャンパス 大学教務課	聴講の受付・授業など に関する事	月～金	8:30～16:30	TEL	042-496-3100
				FAX	042-496-3101
		土	8:30～12:00	E-mail	kyoumuka@jcsu.ac.jp
文京キャンパス	文京キャンパスでの授業 に関する事	授業に合わせて取扱		TEL	03-5689-8181
				FAX	03-5689-8231

4 成績評価及び単位認定

成績評価及び単位認定については、本学の学則及び試験規程に基づき、次の通り定める。

4-1 受験資格 [試験規程第3条]

次に該当する授業科目については、受験資格がないものとする。

- ①未履修登録の科目
- ②出席が学則に定める時間数の3分の2に満たない科目

4-2 不正行為 [試験規程第4条]

- ①不正ペーパーを使用すること。
- ②許可された物以外の物を使用すること。
- ③のぞき見をすること。
- ④試験中に会話をすること。
- ⑤レポート試験等で、不正な引用(要約も含む。)をすること。
- ⑥レポート試験等で、オリジナルでないものをオリジナルであるかのように見せかけること。
- ⑦前各号の行為に類する行為をすること。

不正行為をした者には、その学期のすべての履修科目の単位を認定しない。

4-3 筆記試験 [試験規程第 5 条]

筆記試験については、担当教員の指示のとおりとする。

4-4 レポート試験 [試験規程第 6 条]

レポート試験については、担当教員の指示のとおりとする。

4-5 成績評価の基準 [学則第 33 条及び試験規程第 9 条]

成績については、以下の基準により評価する。

[合格]

・ 100～90 点 S

・ 89～80 点 A

・ 79～70 点 B

・ 69～60 点 C

[不合格]

・ 59～0 点 D

[その他]

・ 評価不能 E

4-6 成績評価等に関する異議申し立てについて [試験規程第 10 条]

成績発表の内容についての異議及び疑問がある場合は、成績の問い合わせ期間内に大学教務課に照会すること。ただし、所定の期日を過ぎてからの申し出には一切応じない。

5 休講

担当教員の疾病等やむを得ない事情で授業を休講する場合がありますので、授業の前に「Web ポータルシステム」で休補講等の情報を確認してください。

6 補講

授業を休講した場合は、原則として補講期間に補講を行いますので、定期的に「Web ポータルシステム」で休補講等の情報を確認してください。

○「Web ポータルシステム」の URL

パソコン <https://www.jcsw-edu.net>

※「Web ポータルシステム」を利用する場合は、ユーザーID とパスワードが必要です。ユーザーID とパスワードは聴講許可者に配布いたします。

7 出席確認

出席確認は、すべての科目で教員が行います。

やむを得ない事情による欠席を含めて、学則に定める時間数の 3 分の 2 に満たない科目については、単位を認定しないので注意すること。

8 文京キャンパスの開講科目について

8-1 開講科目一覧 (文京キャンパス)

連番	科目名	担当者	単位	日程
1	英語 A25	森 亜美 先生	1	8/2・8/3・8/4 8/5・8/6
2	英語 A26	佐野 正信 先生	1	木曜・全 15 回 初講日:9/16
3	初級日本手話 F	角 祐樹 先生	1	木曜・全 15 回 初講日:4/8
4	初級アメリカ手話 B	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回 初講日:4/7
5	中級アメリカ手話	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回(8 日間) 初講日:11/3
6	上級アメリカ手話	袖山 由美 先生	1	水曜・全 15 回 初講日:4/7
7	人間の知性と感性の認識 XIV 「映画で英語を学ぶ」	佐野 正信 先生	2	6/5・6/12・6/19 7/3
8	人間の知性と感性の認識 XV 「舞踏 A」	雫 境 先生	2	木曜・全 15 回(8 日間) 初講日:4/8
9	人間の知性と感性の認識 XV 「舞踏 B」	雫 境 先生	2	木曜・全 15 回(8 日間) 初講日:9/16
10	人間の知性と感性の認識 XVII 「ことばとところ」	中野 聡子 先生	2	9/1・9/2・9/3
11	社会福祉調査法 I B	森 壮也 先生	2	4/10・4/17・5/1・5/8 5/15
12	科学的思考と自然の認識 X I 「進化-進化学的及び系統学的思考」	末森 明夫 先生	2	5/29・6/5・6/12
13	法学(権利擁護を支える法制度) B	若林 亮 先生	2	水曜・全 15 回 初講日:4/7
14	人間の知性と感性の認識 XVIII 「手話学(音韻・統語)」	森 壮也 先生	2	10/2・10/9・10/16 10/23・11/6
15	社会福祉特講 V 「ろう者学総論」	高山 亨太 先生	2	7/10・7/17・7/24
16	情報科学 A7	近藤 真暉 先生	1	土曜・調整中

8-2 時間割 (文京キャンパス)

(1) 前期

曜日	18:30~20:00	20:10~21:40
月		
火		
水	若林亮先生 「法学(権利擁護を支える法制度)B」	袖山由美先生 「上級アメリカ手話」
	袖山由美先生 「初級アメリカ手話B」	
木	角祐樹先生 「初級日本手話F」	
	栗境先生 「人間の知性と感性の認識XV」(舞踏A-自分のからだに向かい合う-) ※4月8日より開講	
金		
土	近藤真暉先生 「情報科学 A7」※調整中	

※ 6/30 (水) は、学内行事のため休講となります。

※ 4/29 (木) [昭和の日]、5/3 (月) [休日]、5/4 (火) [休日]、5/5 (水) [こどもの日]は、通常授業を実施します。

※ 木曜開講科目について休講をした場合には、7/22 (木) [海の日]、もしくは7/27 (火)、7/29 (木)、7/30 (金) いずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

(2) 後期

曜日	18:30~20:00	20:10~21:40
月		
火		
水	袖山由美先生 「中級アメリカ手話」 ※11月3日より開講	
木	佐野正信先生 「英語 A26」	
	栗境先生「人間の知性と感性の認識XVI」 (舞踏B-間を見つめる-)	
金		
土		

※ 12/2 (木)、12/15 (水) は、学内行事のため休講となります。

※ 9/23 (木) は、学内行事である「2年次生 コース・ゼミ選択オリエンテーション」のため、1・2年次開講科目の5・6・7時限は休講となり、1/20 (木)、1/21 (金)、1/24 (月)、1/25 (火)、1/26 (水) いずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

(3) 集中講義 (4月10日～7月24日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限	
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	
前期	4月10日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	4月17日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月1日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月8日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月15日(土)		森壮也先生社会福祉調査法 I B				
	5月29日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
	6月5日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
		佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	6月12日(土)	末森明夫先生「科学的思考と自然の認識X I」 (進化-進化学的及び系統学的思考)					
		佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	6月19日(土)	佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画で英語を学ぶ)					
	7月3日(土)	佐野正信先生「人間の知性と感性の認識X IV」(映画 で英語を学ぶ)					
	7月10日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」					
	7月17日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」					
7月24日(土)	高山亨太先生 社会福祉特講V「ろう者学総論」						

(4) 集中講義 (8月2日～9月3日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
前期	8月2日(月)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月3日(火)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月4日(水)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月5日(木)		森亜美先生「英語 A25」			
	8月6日(金)		森亜美先生「英語 A25」			
	9月1日(水)	中野聡子先生「人間の知性と感性の認識XVII」(ことばとこころ)				
	9月2日(木)					
	9月3日(金)					

(5) 集中講義 (10月2日～11月6日)

区分	月日	1限	2限	3限	4限	5限
		9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
後期	10月2日(土)		森壮也先生「人間の知性と感性の認識XVIII」 (手話学-音韻・統語-)			
	10月9日(土)					
	10月16日(土)					
	10月23日(土)					
	11月6日(土)					

9 清瀬キャンパスの開講科目について

9-1 開講科目一覧（清瀬キャンパス）

連番	科目名	担当者	単位	日程
1	初級アメリカ手話A	森亜美 先生	1	火曜・全 15 回 初講日:4/6
2	人間の知性と感性の認識XIX 「盲ろうコミュニケーション支援論」	前田晃秀 福島智 先生	2	木曜・全 8 回 初講日:4/8
3	科学的思考と自然の認識XIII 「建築と科学・自然」	木下知威 先生	2	木曜・全 15 回 初講日:9/16
4	科学的思考と自然の認識XIV 「メディアと世界」	木下知威 先生	2	木曜・全 15 回 初講日:9/16
5	社会の認識と国際理解XV 「情報保障」	吉川あゆみ 先生	2	水曜・全 15 回 初講日:9/15

9-2 時間割

(1) 前期

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30
火曜			初級アメリカ手話 A (森先生)			
木曜					人間の知性XIX (前田・福島先生) ※4/8は5限のみ	人間の知性XIX (前田・福島先生)

※ 5/5（水）[こどもの日]は通常授業を実施します。

※ 木曜開講科目について休講をした場合には、7/22（木）[海の日]、もしくは7/27（火）、7/29（木）、7/30（金）のいずれかにおいて補講をします。補講指定日以外の実施の場合もあります。

※ 「人間の知性XIX」については、受講生に聴覚障がいた場合にのみ手話通訳が付きます。

(2) 後期

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
水曜		社会の認識XV (吉川先生)			
木曜			科学的思考XIII (木下先生)	科学的思考XIV (木下先生)	

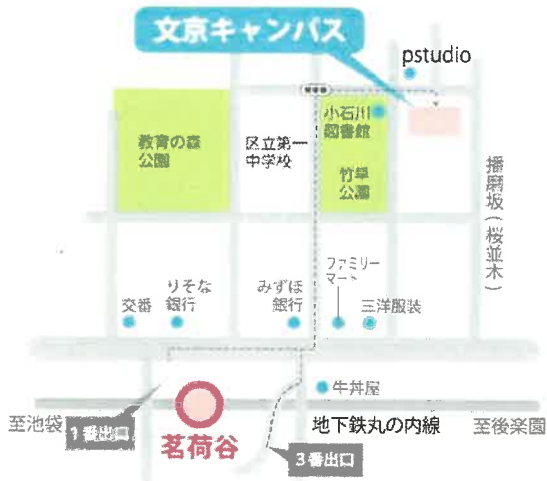
※ 12/2（木）、12/15（水）は学内行事のため休講となります。

10 キャンパスへのアクセス

(文京キャンパス)

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-10-12



文京キャンパスには駐車場および駐輪場がありませんので公共交通機関を利用して通学してください。(徒歩5分)

- 地下鉄丸の内線「茗荷谷駅」下車
- ↓
- 駅前より春日通りにでて、後樂園方向へ
- ↓
- みずほ銀行を左折して、1つめの信号を右へ

(清瀬キャンパス)

〒204-8555

東京都清瀬市竹丘 3-1-30



- 西武池袋線「清瀬駅」下車
- ↓
- 南口バスターミナルよりバス乗車

<ul style="list-style-type: none"> ■ 下里団地行き ■ 花小金井駅行き ■ 滝山営業所行き 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 久米川駅行き
↓乗車時間：6分	↓乗車時間：5分
「社会事業大学前」下車 徒歩3分	「東京病院北」下車 徒歩5分

手話による教養大学 2021

日本語でも英語でもない。
手話で学ぶ教養が、ここにある。

手話による教養大学の授業がオンラインで受けられるようになりました。
どのような状況でも、地方の方でも、オンラインで履修することができます。
大学生はもちろん、大学に通っていない社会人の方も受講できます。
単位互換も可能です。

大学生のみなさん、手話で受けた授業の単位を自分の大学の単位にしませんか。

社会人のみなさん、手話で大学の授業を受けてみませんか。

詳細・お申込みについては下記ホームページをご覧ください

 <https://deafhohproject.com/college/2015schedule/>

お問い合わせはこちら

 E-mail: projectd@jcsu.ac.jp

講師紹介（五十音順）

近藤真暉先生



「情報科学 A7」

現代の情報社会においては、情報機器を用いて「正しく正確な情報を収集する」「収集した情報を適切に加工し分析する」「得られた情報をわかりやすく発信する」技術が求められます。本講義では、聴覚障害者に身近なトピックスをふんだんに取り上げながら、これらの知識・技術の習得を目指します。さらに、国籍、言語、障害など多様なバックグラウンドを持つ人たちに適切に情報を伝えられる思考として、情報アクセシビリティの基礎を学びます。

本講義はオンラインでの実施を予定していますが、受講生の希望や状況に合わせて柔軟に対応していきます。

佐野正信先生



「人間の知性と感性の認識XIV」(映画で英語を学ぶ)

今年度は、アーサー・コナン・ドイル(1859-1930)が生み出した名探偵シャーロック・ホームズの物語を取り上げます。講義の目的は、映像化作品を鑑賞することでホームズに関する基本的知識をひとり身につけてもらうこととします。同一主題の複数の映像化作品を短期間に集中して見れば、比較的容易にその全体像が掴めます。教材は作品の質の高さ、原作への忠実度、在宅視聴の容易さ(AmazonのPrime Videoで視聴可能)を考慮し、ジェレミー・ブレットがホームズを演じたイギリスのグラナダテレビ版『シャーロック・ホームズの冒険』の主要作品10数話(1話当たり52分)とします。医師でありながら心霊主義に傾倒した原作者の人となりや、物語の背景となるヴィクトリア朝時代(1837-1901)・世紀末についても考察します。

講義は在宅での作品鑑賞とメールによる資料購読・レポート提出を基本とするつもりです。

「英語 A26」

山崎祐一『瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓』を教科書に英会話の定型表現・頻出表現の習得を目指します。英→日の理解は難しくはないでしょうが、日→英の表現は簡単にはいかないものがあるはずです。これを機に正しい英語で瞬時に表現する力を身につけてください。ただし、実際の筆談や会話で誤りを気にしすぎて萎縮してしまうのは良くないので、「勉強するときはいつも完全を目指す。しかし会話をするときには通じることを目指す」(デイビッド・セイン)をモットーにしてください。また英語文化についても理解を深めてもらうため、ネットのゲームに毎回トライして遊び感覚でアメリカ50州の名称と位置と簡単な特徴を覚えてもらいます。昨年度は、なんと8割以上の受講生が2分前後で50州全部の位置を地図上で言い当てられるようになりました。

講義はメールによる資料購読とレポート提出を基本とするつもりです。

末森明夫先生



「科学的思考と自然の認識X I」(進化・進化学及び系統学的思考)

皆さんは聾啞史という領域をご存じでしょうか? 「昔もこんな聾啞者がいた」という話はたくさんあります。でもそれだけでは聾啞史という領域を深く理解することはできません。たとえば、昔の「聾」や「啞」という字が示す意味は、現在とは大きく異なっていました。昔はどんな意味だったのでしょうか? また、江戸時代以前に聾者を描いた絵はほとんど知られていません。昔の人は聾者を描かなかったのでしょうか? 講義では「分類」「系統」「進化」という自然科学領域において形成された概念と分析手法を使って、文字、絵画、手話という3つの視座から聾啞史におけるさまざまな話題をたどっていきます。皆さんの参加をお待ちしております。

授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

角祐樹先生



「初級日本手話F」

「日本手話」って何? と思いませんか? 日本手話は、日本語、英語、中国語などと同じように独自の言語体系・文法を持っています。手の動きだけではなく顔・体の方向、顔の表情や目の動き、首の動き、眉の上げ下げなども言葉としての意味を持ちます。その日本手話を、受講生の皆さんが自然に習得できるように、私が、日本手話で直接教授します。

私の授業は、基本的に対面式ですが、状況によってはオンラインで授業することも(遠方の方がいらっしゃる場合)あります。対面式でもオンライン式でも皆さんが楽しく日本手話を習得できるように、丁寧に指導しますので、よろしくお願いします。

袖山由美先生



「初級アメリカ手話B」「中級アメリカ手話」「上級アメリカ手話」

この授業は ASL を身に付けるだけではありません。初級クラスはたくさんさんの ASL 語彙のシャワーを浴びます。中級クラスはたくさん浴びた ASL 語彙を ASL ポエムとして学び、表現力を伸ばしていきます。大抵の人は ASL ポエムで、最初は壁にぶつかります。難しい、どうやって表現するの？と。最初はグループに分かれて、お互いの意見をぶつけ合いながらこういう表現がいいんじゃない？という風に進めます。皆さんの ASL 成長が大きく出てきます。最後の発表会では皆さんは達成感を味わいます。ASL に対する自信が持てるようになるのもその頃ですね。最後の上級クラスでは ASL4 コマ漫画を見て、討論します。アメリカの文化、ろう文化、コーダなどの 4 コマ漫画を元に色々な視点で討論をします。アメリカ形式でやっていますので、アメリカ形式を体験してみてください。

ASL は空間言語なので対面授業で行います。身体で感じ取ってください。

高山亨太先生



社会福祉特講V「ろう者学総論」

近年、ろう者学というキーワードを日本のソーシャルメディアやアカデミックの世界でよく目にするようになりました。しかし、ろう者を題材にすれば、なんでもろう者学だという誤解が多く見られるようになってきたことも事実です。ろう者学を知るためには、その学問背景や理論について、きちんと知ることが重要です。本講義は、フーコーやデリダなどの哲学論から、最近のろう者学の動向、また障害学との関係まで、広く解説しながら、ろう者学のいろはの「い」に触れる講義になります。テキストは、古典的なものになりますが、ハーラン・レインの「善意の仮面」を使用します。

なお、授業は、新型コロナウイルスの状況も鑑みて、同時双方向でのオンライン講義を検討しています。

雫境先生



「人間の知性と感性の認識XV」(舞踏A-自分のからだに向かい合う-)

「人間の知性と感性の認識XVI」(舞踏B-間を見つめる-)

ダンスは音楽に合わせて踊る、と一般的に思い浮かべられがちですが実際はそれに限りません。リズム等に合わせるのではなく音楽を背景的、雰囲気的にとらえたり、無音で踊ったりすることもあります。舞踏にはそういった表現が多くあります。日本で生まれた舞踏は、「BUTOH」として国際的に知られダンスや演劇に影響を与えました。ろう文化であるサインポエム、サインマイム、VV (Visual Vernacular)などは聴覚の音楽ではなく「視覚的音楽」としての重要度が高いです。それらを踏まえ、舞踏をベースにした身体表現を学びます。技術ではなく気持ち、感情、感覚で踊ることも重要なので誰でもできます！

尚、授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

中野聡子先生



「人間の知性と感性の認識XVII」(ことばとところ)

人間と動物の最も大きな違いは、人間が思考する言語を持っていることです。人がことばを使ってコミュニケーションし、物事について思考するとき、頭の中ではどのようなことが起きているのでしょうか。この授業では、ふだん何気なく話していること、考えていること、行動していることの機序について学びます。聴覚障害を持つ子どもたちの発達過程についても取り上げますので、聴覚障害児・者の教育や支援に関わる方が、現場の実践に必要な基礎的知識をブラッシュアップするのにも最適な授業です。

本授業は、同時双方向のオンラインを基本とする形態で実施します。

乗富秀人先生



デフアート

「デフアート」とは作者が、ろう者・聴者関係なく、手話やろう文化をモチーフに描かれた芸術のことを呼んでいます。私の描くデフアートは自身のフランス留学体験を加えて、他にもろう歴史・哲学・心理等も含めてオリジナリティーとしてです。こうしたデフアートを通して、ろう者が生きていた時代背景を読み解くことによって当時の社会や現代社会、そして人間との関係性が鮮明に見えてくるのです。それを見つけ、自分の置かれている状況を再認識するとともに、これから生きる上で多くの知識や知恵がデフアートには散りばめられています。様々な作品を見たり、読むことによって多面的な物の見方や考え方が身につくようになり、手話を誇りに思い、それを原点として将来の夢を広げていく力につながる手助けになればと思います。

授業はオンラインで行います。

森亜美先生



英語 A25

これまで、アメリカのろう社会、歴史、差別問題などをテーマとした英文資料を読み、手話や日本語に翻訳し、ディスカッションをする、という方法で授業を進めてきました。また、デフジョークなどの英文をグループごとに読んで演じるということもやりました。これは好評なので今後もやる予定です。主に時事問題を扱いますが、昨年度は黒人差別反対運動、COVID19流行があり、それらをテーマとした記事等を教材にしました。特にろうの黒人差別問題については学生さんたちも深刻に考えながら英語を読んでもくれました。

対面を原則としますが、状況によっては対面とオンラインまたは動画配信となる可能性もあります。

森壮也先生



「人間の知性と感性の認識XⅧ」(手話学-音韻・統語-)

日頃、深く考えることもなく使っている手話について一般社会の注目が集まり、手話が言語だということが語られるようになってきました。でも、手話が言語だというのはどういうことなのか？その理由と背景について、人間の言語について探求を続けている言語学の立場から世界的な議論を日本手話で解説し、学びを深めていく授業です。

なお、授業は新型コロナウイルスの感染状況を見つつの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性もあります)。

「社会福祉調査法ⅠB」

社会福祉士の試験のためにも必修となっている社会調査法について日本手話を講義言語として、学びます。統計学の基本統計量といった基礎概念の理解についての座学だけでなく、コンピュータを使ったデータの分析方法などについて実際のデータでの分析を交えながら理解を深めていきます。数量分析と質的分析の双方の特徴や違いについても説明します。

なお、授業は新型コロナウイルスの感染状況を見つつの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性もあります)。

若林亮先生



「法学（権利擁護を支える法制度）B」

私は聴覚障がいのある弁護士です。法学Bのテーマである成年後見人の仕事や弱い立場にある人の権利擁護や差別解消に向けた仕事も数多く手がけています。社会福祉士や精神保健福祉士、本人の親族など聞こえる人と協力し合いながら、対等に力や知恵を貸し合っています。現場でも裁判所でも耳が聞こえないからといって仕事の幅を狭められたり依頼を断られたりしたことは一度もありません。どのように仕事をしているかエピソードを交えながらお話しし、そして聴覚障がいがあっても社会や職場で工夫できることについても皆さんと意見交換したいと思います。

原則対面ですが、遠方の方は同時双方向の動画のやりとりでももちろん構いません。

新科目も続々

その他、『聴覚障害者福祉の歴史～聴覚障害者の生活問題と支援の変遷』、『デフアート』、ギャロデット大学との協同授業（COIL）など新科目も日程が決まり次第お知らせします。COILはギャロデット大学の学生と交流しながらオンラインでろう文化を学ぶ授業でもちろん大学の単位になります。

清瀬キャンパス開講の授業もあります

- ・初級アメリカ手話 A （森亜美）
- ・人間の知性と感性の認識 XIX 「盲ろうコミュニケーション支援論」（前田晃秀・福島智）
- ・科学的思考と自然の認識 X III 「建築と科学・自然」（木下知威）
- ・科学的思考と自然の認識 X IV 「メディアと世界」（木下知威）
- ・社会の認識と国際理解 X V 「情報保障」（吉川あゆみ）

手話による教養大学 2021

日本語でも英語でもない。
手話で学ぶ教養が、ここにある。

手話による教養大学の授業がオンラインで受けられるようになりました。
どのような状況でも、地方の方でも、オンラインで履修することができます。
大学生はもちろん、大学に通っていない社会人の方も受講できます。
単位互換も可能です。

大学生のみなさん、手話で受けた授業の単位を自分の大学の単位にしませんか。
社会人のみなさん、手話で大学の授業を受けてみませんか。

詳細・お申込みについては下記ホームページをご覧ください

 <https://deafhohproject.com/college/2015schedule/>

お問い合わせはこちら

 E-mail: projectd@jcsu.ac.jp

講師紹介（五十音順）



キャサリン・オブライエン先生



皆川愛先生 マーティン・デイルヘンチ先生



「ろう社会の多様性と抑圧」

この授業は*COIL という国際協働オンライン学習形式を組み込んで行われます。日本にいながら、オンラインにてアメリカのギャロデット大学の授業を経験し、学生との国際交流を通して新しい知見を学ぶ授業です。特権、デフェリット、手話の多様性、ろう社会のリーダーシップなど様々な題材を扱い、日米のろう社会の多様性と抑圧について双方向に学び合います。授業には日本手話通訳⇔アメリカ手話通訳が付きまます。

*COIL : Collaborative Online International Learning

授業は全てオンラインで9月25日から11月27日 土曜日午前中に実施します。zoom を使ったリアルタイムでの遠隔授業と自主グループワーク学習の混合になります。

佐野正信先生



英語 A26

山崎祐一『瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓』を教科書に英会話の定型表現・頻出表現の習得を目指します。英→日の理解は難しくはないでしょうが、日→英の表現は簡単にはいかないものがあるはずです。この機に正しい英語で瞬時に表現する力を身につけてください。ただし、実際の筆談や会話で誤りを気にしすぎて萎縮してしまうのは良くないので、「勉強するときはいつも完全を目指す。しかし会話をするときは通じることを目指す」(デイビッド・セイン)をモットーにしてください。また英語文化についても理解を深めてもらうため、ネットのゲームに毎回トライして遊び感覚でアメリカ 50 州の名称と位置と簡単な特徴を覚えてもらいます。昨年度は、なんと 8 割以上の受講生が 2 分前後で 50 州全部の位置を地図上で言い当てられるようになりました。講義はメールによる資料購読とレポート提出を基本とするつもりです。

9月16日～1月6日 毎週木曜日 18時半～20時

袖山由美先生



中級アメリカ手話

ASL を身に付けるだけではありません。

初級クラスはたくさんの ASL 語彙シャワーを浴びます。

中級クラスはたくさん浴びた ASL 語彙を ASL ポエムとして表現力を伸ばしていきます。大抵の人は ASL ポエムで最初は壁にぶつかります。難しい、どうやって表現するの？最初はグループに分かれて、お互いの意見をぶつけながらこういう表現がいいんじゃない？という風に皆さんの ASL 成長が大きく出てきます。最後の発表会では皆さんは達成感を味わって、ASL に対しての自信が持てるようになるのもその頃ですね。最後の上級クラスでは ASL4 コマ漫画を見て、討論します。アメリカの文化、ろう文化、コーダなど 4 コマ漫画を元に色々な視点での討論をします。アメリカ形式にやっていますので、アメリカ形式を体験してみてください。

ASL は空間言語なので対面授業で行います。身体で感じ取ってください。

11月3日～1月6日 毎週水曜日 18時30分～21時40分

雫境先生



「人間の知性と感性の認識XVI」(舞踏B-間を見つめる-)

ダンスは音楽に合わせて踊る、と一般的に思い浮かべがちですが実際はそれに限りません。リズム等に合わせるのではなく音楽を背景的、雰囲気的にとらえたり、無音で踊ったりすることもあります。舞踏にはそういった表現が多くあります。日本で生まれた舞踏は、「BUTOH」として国際的に知られダンスや演劇に影響を与えました。ろう文化であるサインポエム、サインマイム、VV (Visual Vernacular)などは聴覚の音楽ではなく「視覚的音楽」としての重要度が高いです。それらを踏まえ、舞踏をベースにした身体表現を学びます。技術ではなく気持ち、感情、感覚で踊ることも重要なので誰でもできます！ 尚、授業は対面としますが、遠方の方には同時に動画配信をします。

9月16日から8回 木曜日18時30分～21時40分

中野聡子先生



「間の知性と感性の認識XVII」(ことばとこころ) 人間と動物の最も大きな違いは、人間が思考する言語を持っていることです。人がことばを使ってコミュニケーションし、物事について思考するとき、頭の中ではどのようなことが起きているのでしょうか。この授業では、ふだん何気なく話していること、考えていること、行動していることの機序について学びます。聴覚障害を持つ子どもたちの発達過程についても取り上げますので、聴覚障害児・者の教育や支援に関わる方が、現場の実践に必要な基礎的知識をブラッシュアップするのにも最適な授業です。

本授業は、同時双方向のオンラインを基本とする形態で実施します。

9月1、2、3日 9時～17時

乗富秀人先生



人間の知性と感性の認識 XIII (デフアート)

デフアートとは「手話」と「ろう文化」等をモチーフに描いた芸術分野のことを呼びます。

ろう者自身の実体験を含め、先人たちの体験をもとに描いたデフアートを通して作品の全体像を概観しながら、ろう歴史を背景に考察します。

それによって、ろう者が手話で生きる意味、そして聴者が手話を学ぶ意味を認識することで、お互いに尊重する共生社会の重要性を学び、理解を深めていく授業です。

9月17日～1月7日 毎週金曜日 18時30分～20時

森亜美先生



英語 A25

これまで、アメリカのろう社会、歴史、差別問題などをテーマとした英文資料を読み、手話や日本語に翻訳し、ディスカッションをする、という方法で進めてきました。また、デフジョークなどの英文をグループごとに読んで演じるということもやりました。これは好評なので今後もやる予定です。主に時事問題を扱いますが、昨年度は黒人差別反対運動、COVID19流行があり、それらをテーマとした記事等を教材にしました。特にろうの黒人差別問題については学生さんたちも深刻に考えながら英語を読んでもくれました。対面を原則としますが、状況によっては対面とオンラインまたは動画配信となる可能性もあります。

8月2・3・4・5・6日 10時40分～16時10分

森壮也先生



手話の言語学

日頃、深く考えることもなく使っている手話について一般社会の注目が集まり、手話が言語だということが語られるようになってきました。でも、手話が言語だというのはどういうことなのか？その理由と背景について、人間の言語について探求を続けている言語学の立場から世界的な議論を日本手話で解説し、学びを深めていく授業です。なお、授業は新型コロナの感染状況を見つづの判断となりますが、原則、全回同時双方向のオンラインで実施したいと思っています(状況によっては対面に移行する可能性もあります)。

10月2日～11月6日の土曜日 10時40分～16時10分